

(ねらい) 自然物から、想像力を働かせて発想し、工作物を作ることが出来る。

* 自然物は事前に準備しておくか、工作前に外で集めてくる。



どんぐり(マテバシイ)を使った人形



木の実を使ったモビール



まつぼっくりを使ったオブジェ



輪切りにした木に絵を書き、コースターや、割ってジグソーパズルに。



木っ端を使った人形



落ち葉を使ったしおり

- 木の実と紐、木の実に付けて紐を通せる金具をしてネックレスなどのアクセサリーもつくれます。

クラフトに使う木の実(一例)



指導体制 : 指導者5名程度、指導助手数名 **対象人数** : 20人程度

準備 : クラフトの材料、工具(ハンドドリルなど)、接着剤、パウチの道具など必要に応じて

留意点 : ドリル加工など危険性の高い作業については指導者が行う。

参考資料もあるが出来る限り子供達の発想力に任せる。

プログラムの位置付け :

小学校学習指導要領

図工 : 1,2年 A 表現

(1) ア 身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付いてつくること。

3,4年 自然物の形、色、材料を生かしたもののづくり